

福井大学



参加費：無料
先着 300 名
(要申込)

子どものこころの 発達研究センター講演会

日時

令和 7 年 **10 月 25 日** 土 13:50 ~ 16:30
(開場 13:20)

会場

フェニックス・プラザ 小ホール
(福井県福井市田原 1 丁目 13-6)



講演

1

福井県寄附部門のこれまでの活動

森本 武志

福井大学子どものこころの発達研究センター 地域こころの支援部門 准教授

平成 29 年度に設置された「児童青年期こころの専門医育成部門」は、若手児童精神科医を養成することを主目的とした。ミッションを達成し令和 4 年度からは「地域こころの支援部門」として寄附部門第 2 期の活動を行っている。発達障害およびトラウマ関連障害の当事者をライフステージを通じて診療できる医師を育てるのみならず、地域の支援者をサポートするシステムを作ることが求められている。医療機関に留まらず児童相談所、乳児院、児童養護施設、少年鑑別所、家庭裁判所などとの連携を含め、当部門の通算 8 年の活動を振り返りたい。



講演

2

トラウマ(心的外傷)への対応～児童精神科医療における 被虐待児・サバイバーのトラウマからの解放～

杉本 篤言

新潟大学大学院医歯学総合研究科 地域精神医療学講座 特任准教授
NPO 法人新潟トラウマ治療協会 理事長

新潟県内唯一の児童思春期精神科病棟がある新潟県立精神医療センターには、発達障害、トラウマ、複雑な家庭背景などを有する最重度の複雑性 PTSD 患児が紹介されてくる。講演ではこの臨床経験から、家庭や学校でもできるトラウマ対応(トラウマインフォームドケア、トラウマレスポンスケア)、性的グルーミングから抜け出すには、自傷行為はやめさせるべきか、SNS の「病み界限」への対応、トラウマと貧困の連鎖から抜け出す方法、などを解説する。TS プロトコル手動処理を安定化技法として用いる方法も紹介する。



講演

3

トラウマ研究最前線ー 科学でひらく子どもと家族の未来 ー

友田 明美

福井大学子どものこころの発達研究センター 発達支援研究部門 教授
福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部 部長

今、子どもと家庭を取り巻く環境は大きく変化し、出生率の低下、産後うつ増加、虐待対応件数の増加などが深刻な課題となっている。中でも「マルトリートメント(マルトリ)」は、子どもの心や脳の発達に悪影響を及ぼす身体的・心理的虐待やネグレクトを含む、避けたい子育てを指す。マルトリを防ぐには、親が困難を抱える前の段階で、適切な支援を届けることが重要である。本講演では、最新の脳科学の知見に基づいてマルトリの予防や早期支援の重要性を解説し、地域全体で子育てを支える「とも育て®」の必要性を伝える。



お申し込み
はこちら!!



google フォーム

お問い合わせ

福井大学子どものこころの発達研究センター
講演会担当

✉ fukuikodomokouenkai@gmail.com

☎ 0776-61-8707



子どものこころの
発達研究センター

Research Center for Child Mental Development